

受益者のみなさまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。

さて、「フィデリティ・グローバル株式ファンド(為替ヘッジあり)」と「フィデリティ・グローバル株式ファンド(為替ヘッジなし)」は、第6期の決算を行いました。当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の企業の株式等を投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

フィデリティ・グローバル株式 ファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

愛称: グローバル・パスポート

追加型投信 / 内外 / 株式

交付運用報告書

第6期(決算日 2024年2月15日)

作成対象期間(2023年2月16日～2024年2月15日)

日経新聞掲載名

(為替ヘッジあり): グロパス有

(為替ヘッジなし): グロパス無

<お問合せ先>

フィデリティ投信株式会社

カスタマー・コミュニケーション部

東京都港区六本木七丁目7番7号 TRI-SEVEN ROPPONGI

 **0120-00-8051** (無料)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時

 <https://www.fidelity.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお尋ねください。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、委託会社のホームページから下記の手順で閲覧、ダウンロードできます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

上記URLにアクセス⇒「ファンド情報」より「基準価額一覧」を選択⇒当ファンドの「運用レポート目録見書等」を選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

第6期末
(決算日 2024年2月15日)

| 基準価額 | (為替ヘッジあり) | (為替ヘッジなし) |
|--------------------------------|-----------|-----------|
| | 14,148円 | 20,146円 |
| 純資産総額 | (為替ヘッジあり) | (為替ヘッジなし) |
| | 332百万円 | 2,001百万円 |
| 第6期 (2023年2月16日～2024年2月15日) | | |
| 騰落率 | (為替ヘッジあり) | (為替ヘッジなし) |
| | 9.5% | 28.6% |
| 分配金合計 | (為替ヘッジあり) | (為替ヘッジなし) |
| | 0円 | 0円 |

(注) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

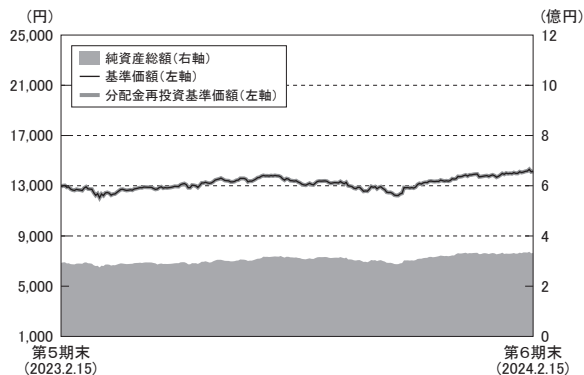
フィデリティ投信株式会社



1. 運用経過の説明

① 基準価額等の推移

(為替ヘッジあり)

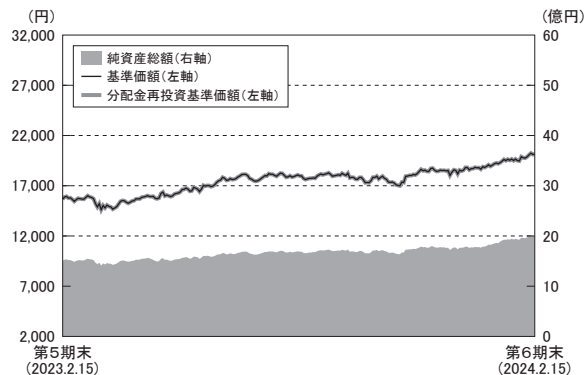


第6期首: 12,926円

第6期末: 14,148円 (既払分配金0円)

騰落率: 9.5% (分配金再投資ベース)

(為替ヘッジなし)



第6期首: 15,663円

第6期末: 20,146円 (既払分配金0円)

騰落率: 28.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、2023年2月15日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

② 基準価額の主な変動要因

為替ヘッジあり

当期の当ファンドの騰落率は、+9.5%でした

<プラス要因>

- ・ 米国及び日本の株式市場が堅調に推移したこと
- ・ 情報技術、コミュニケーション・サービスなどの業種が好調だったこと

<マイナス要因>

- ・ 英国の株式市場が軟調に推移したこと
- ・ 公益事業といった業種が低迷したこと

為替ヘッジなし

当期の当ファンドの騰落率は、+28.6%でした

<プラス要因>

- ・ 米国及び日本の株式市場が堅調に推移したこと
- ・ 情報技術、コミュニケーション・サービスなどの業種が好調だったこと
- ・ 円に対して米ドル、英ポンド及びユーロが上昇したこと

<マイナス要因>

- ・ 英国の株式市場が軟調に推移したこと
- ・ 公益事業といった業種が低迷したこと

③ 1万口当たりの費用明細

(為替ヘッジあり)

| 項目 | 第6期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------|---------|---|
| | 2023年2月16日～2024年2月15日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 112円 | 0.847% | (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は13,186円です。 |
| (投信会社) | (1) | (0.011) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (107) | (0.814) | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価 |
| (受託会社) | (3) | (0.022) | 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | — | — | (b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | — | — | (c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 14 | 0.103 | (d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ |
| (保管費用) | (0) | (0.003) | 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 |
| (監査費用) | (2) | (0.017) | 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 |
| (その他) | (11) | (0.083) | その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。 |
| 合計 | 125 | 0.950 | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

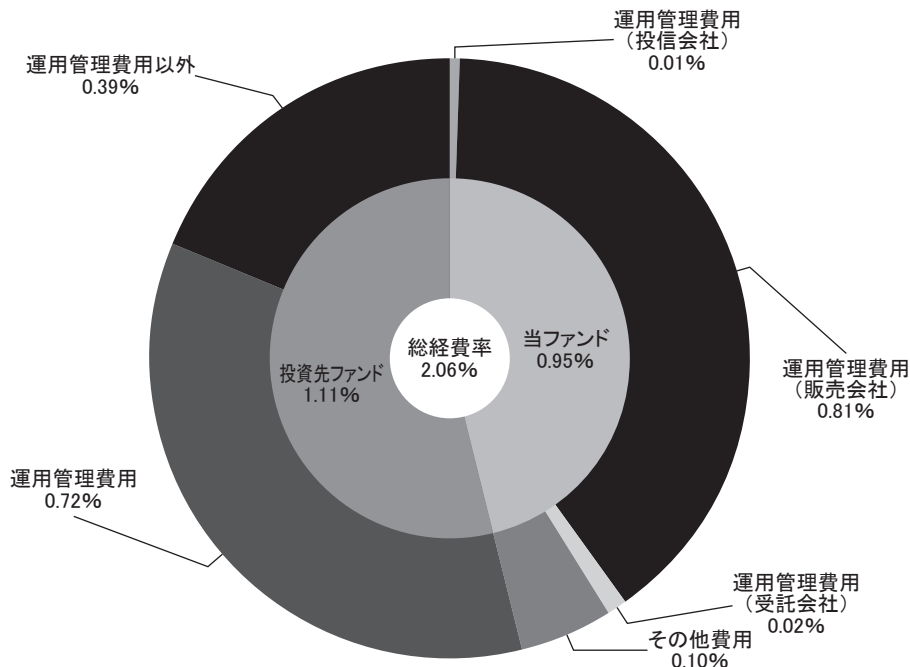
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.06%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率(①+②+③) | 2.06% |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.95% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.72% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.39% |

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(為替ヘッジなし)

| 項目 | 第6期 | | 項目の概要 |
|-------------|-----------------------|---------|--|
| | 2023年2月16日～2024年2月15日 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 148円 | 0.847% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は17,487円です。 |
| (投信会社) | (2) | (0.011) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (142) | (0.814) | 購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの 管理及び事務手続き等の対価 |
| (受託会社) | (4) | (0.022) | 運用財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | — | — | (b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有価証券取引税 | — | — | (c) 有価証券取引税＝ $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) その他費用 | 15 | 0.085 | (d) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ |
| (保管費用) | (0) | (0.002) | 保管費用は、有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等のために、海外 における保管銀行等に支払う費用。また、信託事務の諸費用等が含まれます。 |
| (監査費用) | (4) | (0.024) | 監査費用は、ファンドの監査人等に対する報酬及び費用 |
| (その他) | (10) | (0.059) | その他には、法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、 印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含ま れます。 |
| 合計 | 163 | 0.931 | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「金額」欄は、各項目毎に円未満を四捨五入しています。

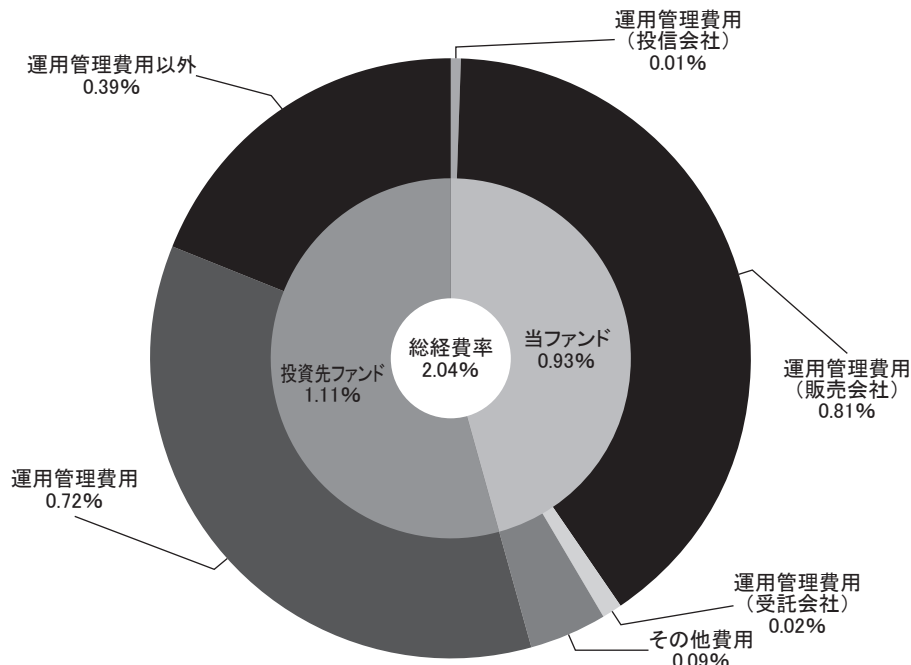
(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.04%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率(①+②+③) | 2.04% |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.93% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.72% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.39% |

(注1)①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)その他費用には、保管費用、監査費用以外に法定書類等(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等)の作成、印刷、提出等に係る費用や法律顧問、税務顧問に対する報酬及び費用等が含まれます。

(注4)各比率は、年率換算した値です。

(注5)投資先ファンドとは、当ファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

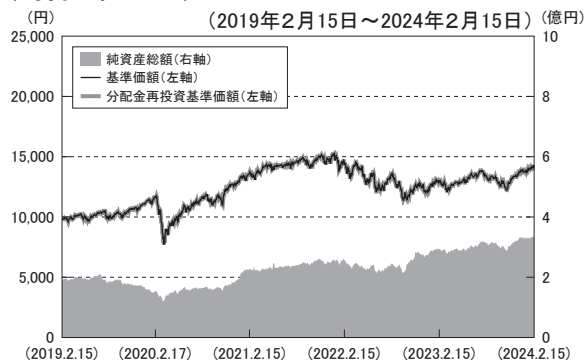
(注6)①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注7)①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

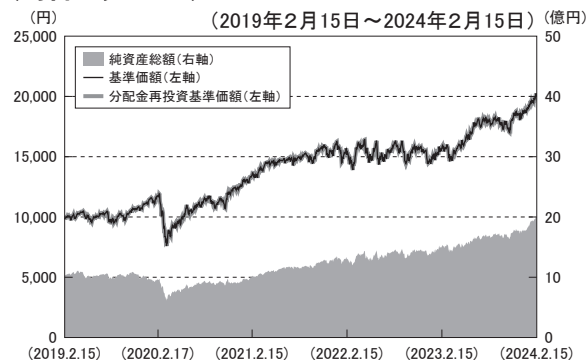
(注8)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

④最近5年間の基準価額等の推移

(為替ヘッジあり)



(為替ヘッジなし)



(為替ヘッジあり)

| | 2019年2月15日 期首 | 2020年2月17日 決算日 | 2021年2月15日 決算日 | 2022年2月15日 決算日 | 2023年2月15日 決算日 | 2024年2月15日 決算日 |
|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 9,742 | 11,646 | 13,634 | 14,323 | 12,926 | 14,148 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率(%) | — | 19.5 | 17.1 | 5.1 | △9.8 | 9.5 |
| 純資産総額 (百万円) | 191 | 153 | 226 | 254 | 292 | 332 |

(為替ヘッジなし)

| | 2019年2月15日 期首 | 2020年2月17日 決算日 | 2021年2月15日 決算日 | 2022年2月15日 決算日 | 2023年2月15日 決算日 | 2024年2月15日 決算日 |
|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 9,809 | 11,724 | 13,488 | 15,154 | 15,663 | 20,146 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率(%) | — | 19.5 | 15.0 | 12.4 | 3.4 | 28.6 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,018 | 959 | 1,008 | 1,290 | 1,507 | 2,001 |

(注) 分配金再投資基準価額は、2019年2月15日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

* 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

※当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑤投資環境

当期の世界の株式市場は、ボラティリティが高まる場面があったものの、インフレ率に鈍化傾向が見られたことや主要中央銀行の金融政策が緩和方向へ転換するのではないかとの期待感が投資家心理を下支えし、MSCIワールド・インデックスの騰落率でプラスとなりました。期初は堅調な出だしとなったものの、その後3月の米地方銀行の経営破綻をきっかけに、米国及び欧州を中心とした金融セクターの混乱が生じ、市場が急落しました。また5月には米国の債務上限問題を巡る懸念が高まったことが市場の重石となった他、8月には米国債の格付けが引き下げられた影響により、リスクオフの動きが広がりました。また、依然として目標を上回る高い水準のインフレ率を背景に、主要中央銀行が積極的な金融引き締め姿勢を維持し、高い金利水準が長期化する可能性が高いとの見方を示唆したことも投資家心理を冷やしました。期後半に入ると、中東情勢の緊迫化が投資家心理をさらに冷やす展開となりましたが、好調な企業業績や経済指標の底堅さが相場全体を下支えする形となりました。また、2023年末にかけては主要中央銀行が利上げペースを鈍化させたことなどを背景に、ソフトランディングへの期待が高まり、市場は上昇しました。2024年に入ると、米連邦準備制度理事会(FRB)のハト派的な発言が薄まり、早期利下げ観測は後退しました。こうした状況の下、主要株式市場は米国及び日本がけん引する形で上昇しました。新興国も上昇したものの、中国の景気減速を背景に出遅れました。また、セクター別では、人工知能(AI)に関連した銘柄を中心に情報技術及びコミュニケーション・サービスが上昇しました。

⑥ポートフォリオ

主として以下の投資信託証券(投資対象ファンド)に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。

- ・フィデリティ・ファンズ・ワールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)
- ・フィデリティ・ファンズ・USDル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の企業の株式等へ投資を行い、投資信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。当期もそのように運用を行いました。

⑦ベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマーク及び参考指数は設定しておりません。

⑧分配金

(為替ヘッジあり)

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第6期 | |
|-----------|-----------------------|--|
| | 2023年2月16日～2024年2月15日 | |
| 当期分配金 | 0 | |
| (対基準価額比率) | －% | |
| 当期の収益 | － | |
| 当期の収益以外 | － | |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,641 | |

(為替ヘッジなし)

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては投資信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

●分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第6期 | |
|-----------|-----------------------|--|
| | 2023年2月16日～2024年2月15日 | |
| 当期分配金 | 0 | |
| (対基準価額比率) | －% | |
| 当期の収益 | － | |
| 当期の収益以外 | － | |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,145 | |

* 「当期の収益」および「当期の収益以外」は円未満切捨てのため、合計額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

* 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

* 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」が当該決算期末日時点の基準価額を上回ることがありますが、実際には基準価額を超えて分配金が支払われることはありません。

2. 今後の運用方針

当ファンドにつきましては、「フィデリティ・ファンズ・ワールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」、「フィデリティ・ファンズ・USDドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」の投資信託証券への投資を通じて、実質的な運用を当該ファンドにおいて行います。当ファンドでは、弊社のグローバルネットワークの徹底した企業調査を活用し、株価上昇の大きな要因となる、企業の変化、評価の変化、企業の成長に注目した3つの切り口(変貌銘柄、再評価銘柄、成長継続銘柄)で銘柄を選別し、継続的な超過収益を目指すような運用を行う予定です。

3. お知らせ

- 2023年11月14日付で信託期間終了日を2028年2月15日から無期限に変更いたしました。
- 2023年11月14日付で当ファンドの運用の実態に合わせて、デリバティブ取引の使用目的をヘッジ等に限定することをより明確にするため、投資信託約款に所要の整備を行いました。

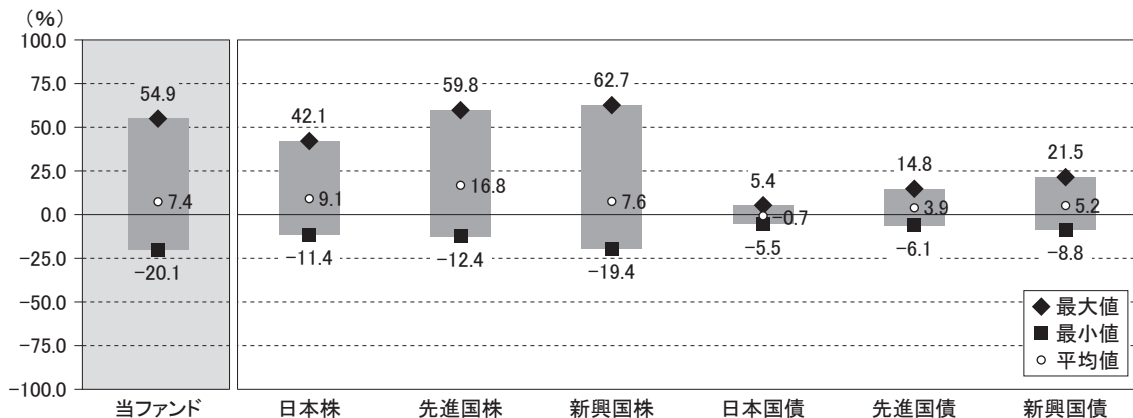
4. 当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 原則無期限です。 |
| 運用方針 | この投資信託は、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 主として、「フィデリティ・ファンズ・ワールド・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」および「フィデリティ・ファンズ・USDドル・キャッシュ・ファンド(ルクセンブルグ籍証券投資法人)」に投資を行います。なお、短期金融商品に直接投資を行う場合があります。 |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none">●主として、投資信託証券に投資を行います。●投資信託証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界の企業の株式等を投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 |
| 分配方針 | 毎決算時(原則2月15日。同日が休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の収益分配方針に基づき分配を行います。 <ul style="list-style-type: none">●分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 |

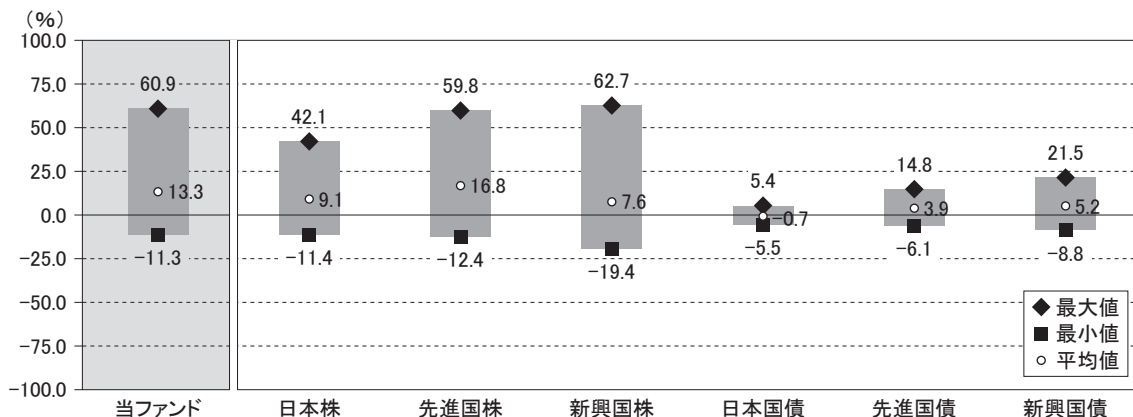
5. 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(為替ヘッジあり)



(為替ヘッジなし)



(注1) 当ファンドは2018年4月27日に設定されたため2019年4月～2024年1月の期間、他の代表的な資産クラスについては2019年2月～2024年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示しております。当グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※各資産クラスの指数

日本株・・・TOPIX(配当込)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引前配当金込/円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI 国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、指数提供元にて円換算しています。

* 詳細は後述の「指数に関して」をご参照下さい。

6. 当ファンドのデータ

①組入資産の内容

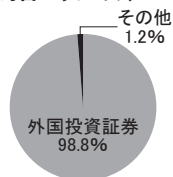
組入上位ファンド

(2024年2月15日現在)

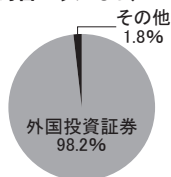
| ファンド名 | 組入比率 | |
|-----------------------------|-----------|-----------|
| | (為替ヘッジあり) | (為替ヘッジなし) |
| フィデリティ・ファンズーワールド・ファンド | 98.7% | 98.1% |
| フィデリティ・ファンズーUSDル・キャッシュ・ファンド | 0.1 | 0.1 |
| 組入ファンド数 | 2ファンド | 2ファンド |

資産別配分

(為替ヘッジあり)

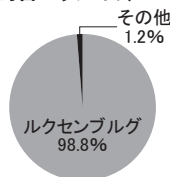


(為替ヘッジなし)

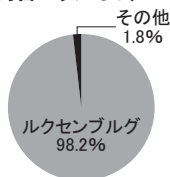


国別配分

(為替ヘッジあり)

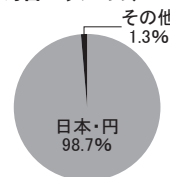


(為替ヘッジなし)

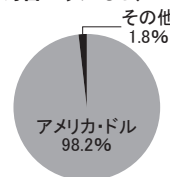


通貨別配分

(為替ヘッジあり)



(為替ヘッジなし)



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 国別配分は、発行国・地域を表示しています。

(注3) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

* 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

②純資産等

(為替ヘッジあり)

| 項目 | 当期末 |
|------------|--------------|
| | 2024年2月15日 |
| 純資産総額 | 332,337,042円 |
| 受益権総口数 | 234,906,811口 |
| 1万口当たり基準価額 | 14,148円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は66,586,232円、同解約元本額は58,291,595円です。

(為替ヘッジなし)

| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2024年2月15日 |
| 純資産総額 | 2,001,194,965円 |
| 受益権総口数 | 993,352,620口 |
| 1万口当たり基準価額 | 20,146円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は256,107,003円、同解約元本額は225,205,489円です。

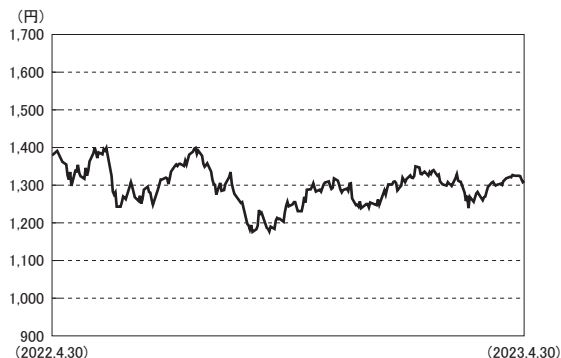
③組入上位ファンドの概要

フィデリティ・ファンズ・ワールド・ファンド

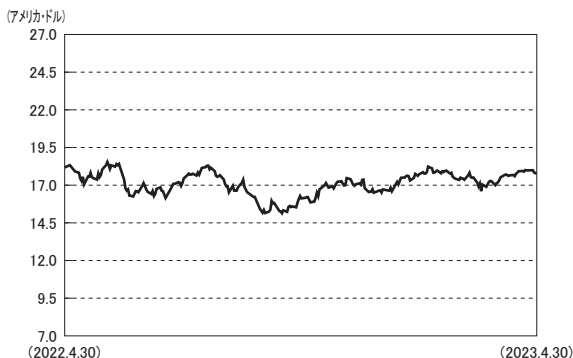
(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

基準価額の推移

(為替ヘッジあり)投資対象ファンド



(為替ヘッジなし)投資対象ファンド



※各グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

組入上位10銘柄

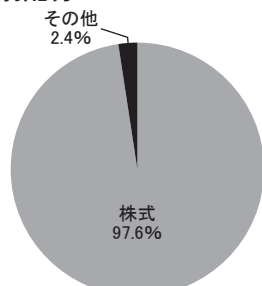
| | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 比率 |
|---|------------------------------|------|----------|------|
| 1 | Microsoft | アメリカ | 情報技術 | 5.4% |
| 2 | Alphabet (A) | アメリカ | 情報技術 | 2.8 |
| 3 | JPMorgan Chase | アメリカ | 金融 | 2.3 |
| 4 | HCA Healthcare | アメリカ | ヘルスケア | 2.1 |
| 5 | Canadian Pacific Kansas City | カナダ | 資本財・サービス | 2.1 |

| | 銘柄名 | 国・地域 | 業種 | 比率 |
|-------|--------------------|------|-------|-------|
| 6 | UnitedHealth Group | アメリカ | ヘルスケア | 2.1 |
| 7 | Johnson & Johnson | アメリカ | ヘルスケア | 2.1 |
| 8 | MasterCard | アメリカ | 金融 | 2.1 |
| 9 | E.ON | ドイツ | 公益事業 | 1.8 |
| 10 | AmerisourceBergen | アメリカ | ヘルスケア | 1.8 |
| 組入銘柄数 | | | | 101銘柄 |

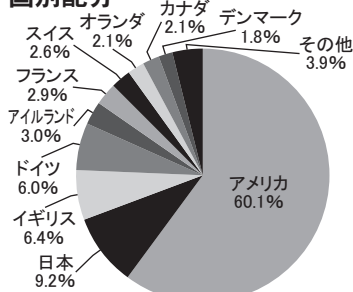
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

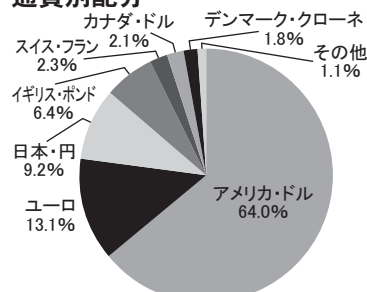
資産別配分



国別配分



通貨別配分



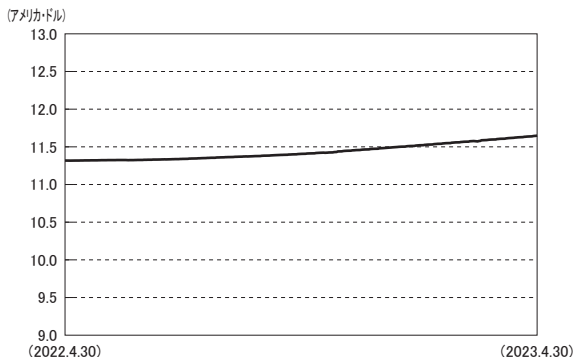
(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

フィデリティ・ファンズーUSドル・キャッシュ・ファンド 基準価額の推移



※グラフは、1口当たり純資産価格の推移を示しています。

(別途記載がない限り2023年4月30日現在)

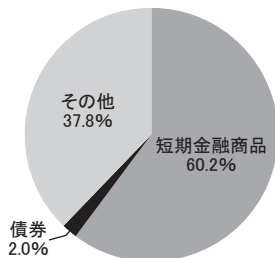
組入上位10銘柄

| | 銘柄名 | 国・地域 | 比率 |
|-------|--|---------|------|
| 1 | Austria CP 4.85% 03/05/2023 | オーストリア | 3.5% |
| 2 | Sweden CP 4.88% 03/05/2023 | スウェーデン | 2.9 |
| 3 | Mitsu Finance CP 4.98% 17/05/2023 | イギリス | 2.3 |
| 4 | NAB VCD 0.44% 15/05/2023 | オーストラリア | 2.3 |
| 5 | SG Issuer -0.80% 07/03/2024 | ルクセンブルグ | 2.0 |
| 6 | Landeskreditbank CP 4.84% 03/05/2023 | ドイツ | 1.7 |
| 7 | Royal Bank of Canada CD 0.46% 04/05/2023 | カナダ | 1.7 |
| 8 | Mizuho London CD 5.50% 05/07/2023 | イギリス | 1.7 |
| 9 | Cooperatieve CD 0.48% 17/05/2023 | オランダ | 1.2 |
| 10 | Barclays CD 10.03% 02/05/2023 | イギリス | 1.2 |
| 組入銘柄数 | | 59銘柄 | |

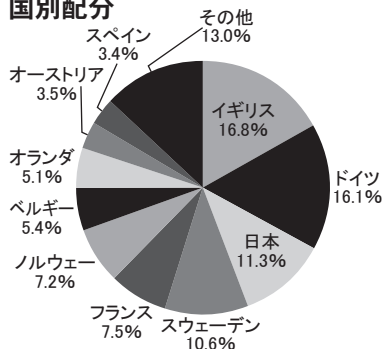
1万口当たりの費用明細

当ファンドの1万口当たりの費用は算出されていないため開示できません。

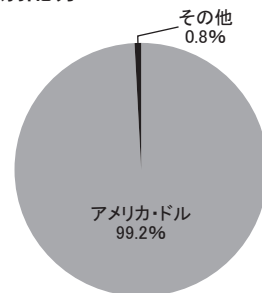
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 各々の表、グラフにある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

(注2) 「その他」には現金を含みます。未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注3) 国・地域及び国別配分は、発行国・地域を表示しています。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

指数に関して

●「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載の指数について

| | | |
|------|---|---|
| 日本株 | TOPIX (配当込) | 東証株価指数 (TOPIX) (以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。 |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス (税引前配当金込/円ベース) | MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く先進国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。 |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス (税引前配当金込/円ベース) | MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、エマージング諸国の株式市場のパフォーマンス測定を目的とする浮動株調整済み時価総額加重指数です。著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI 国債 | NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びNOMURA-BPI 国債に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) | FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。 |
| 新興国債 | J. P. モルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース) | この情報は信頼性があると信じるに足る情報源から得られたものですが、J. P. モルガンはその完全性または正確性を保証するものではありません。このインデックスは使用許諾を得て使用しています。 J. P. モルガンによる書面による事前の承諾なくこのインデックスを複写、使用、頒布することは禁じられています。 Copyright © 2022 J.P. Morgan Chase & Co. 無断複写・転載を禁じます。 |

